

川内川 かんきょう
スズも環境ネットグループ
2012



川を活用した地域づくり
活動発表会



平成24年12月8日(土)
さつま町宮之城ひまわり館

■川内川子ども環境ネットワーク『環境教室』『防災教室』について



『環境教室』の目的

今、環境問題をテーマにした活動がさかんに行われています。また、そのような活動を始めようと考えている方々も大勢いらっしゃると思います。川内川につながっている身近な川で、水の中の生き物調査やゴミ調査をすることにより、「川内川を日本一の清流にすること」を目的としています。水の中の生きものは、水のきれいさの程度により棲む生きものの種類が違うため生きものを指標（水の汚れをはかるものさし）として、水のきれいさを調べることができます。子ども達はもちろんですが、大人の方々の参加もOKです！ 平成15年度から活動実施中です。

『防災教室』の目的

近年、ゲリラ豪雨が頻発する中で、少しでも水害への関心を持ってもらい、理解を深めてもらうために「水害に関する知識を深めてもらい、緊急時の避難に対する心がけをもってもらふこと」を目的としています。子ども達はもちろんですが、大人の方々の参加もOKです！ 平成22年度から活動スタートしています。

■川内川子ども環境ネットワークの流れ

【環境教室】

1. 活動単位・内容の決定

- 活動単位・・学校全体/学年/クラス/グループなど
- 活動場所・・身近な川
- 活動内容・・水の中の生き物調査やゴミ調査。さらに別の調査を追加してもOK
- 活動計画・・一年間の活動計画をまとめる

2. 「川内川子ども環境ネットワーク」へ登録

登録方法

【登録申し込み書】

申し込み書（エクセル）をダウンロード
申し込み書（PDF）をダウンロード

【FAXによる登録】

- FAX 番号：0996-25-0862
登録申し込み書を川内川河川事務所 調査課 調査係に送付してください。

【メールによる登録】

- メールアドレス：sendai@qsr.mlit.go.jp
登録申し込み書をメールに添付して送付してください。

3. 活動・調査

川で調査をおこない、結果を元にして
みんなで話し合い、活動の結果をまとめる。

4. 報告

【発表会での報告】

「川内川子ども環境ネットワーク」全体発表会での報告。

【その他】

壁新聞、川内川河川事務所の広報誌「せせらぎ」、
「川内川子ども環境ネットワーク」ホームページ、チラシなど。

5. 継続

調査した場所や時期を同じにして、継続していく



【防災教室】

1. 活動単位・内容の決定

- 活動単位・・学校全体/学年/クラス/グループなど
- 活動場所・・身近な川
- 活動内容・・水害に関する知識の習得。
川の危険箇所の把握。
- 活動計画・・一年間の活動計画をまとめる

2. 「川内川子ども環境ネットワーク」へ登録

登録方法

【応募用紙】

応募用紙（PPT）をダウンロード
応募用紙（PDF）をダウンロード

【FAXによる登録】

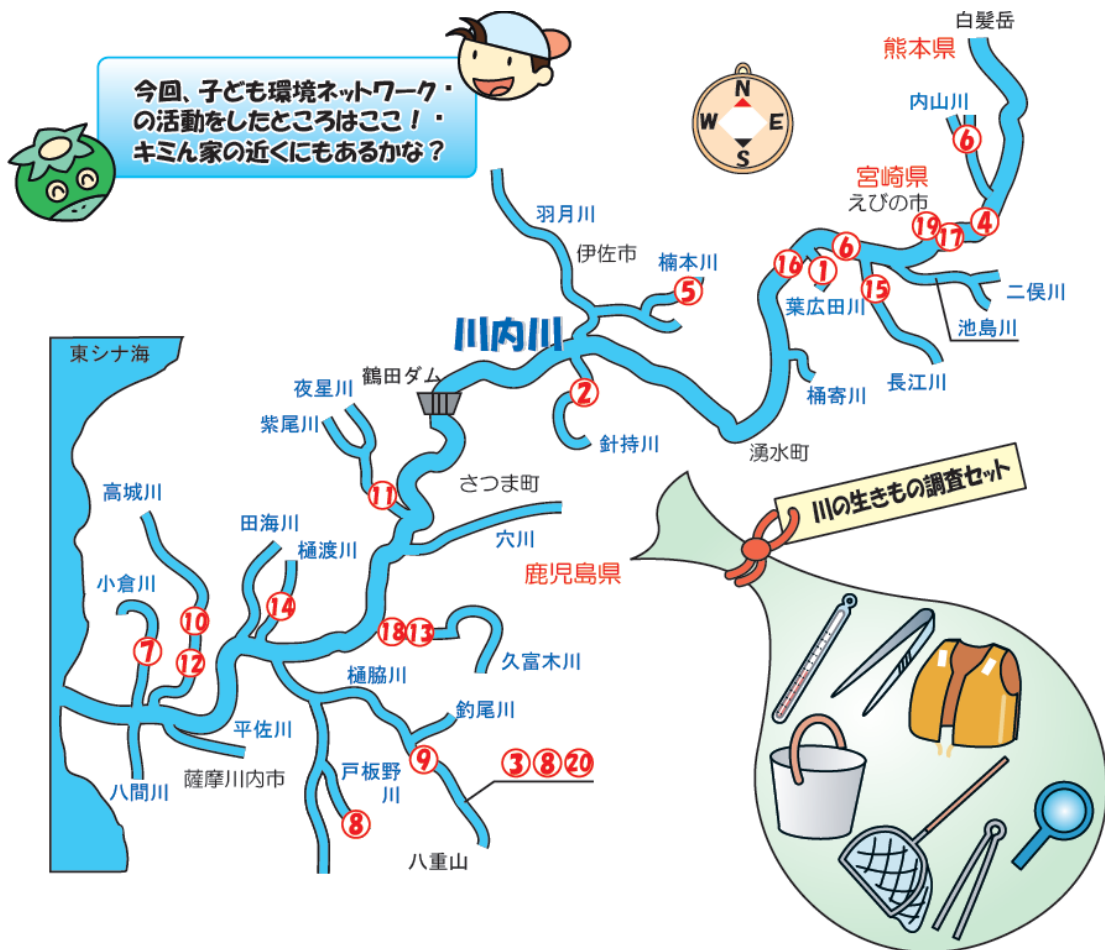
- FAX 番号：0996-25-0862
応募用紙を川内川河川事務所 調査課 水防企画係に送付してください。

【メールによる登録】

- メールアドレス：sendai@qsr.mlit.go.jp
応募用紙をメールに添付して送付してください。

4. 報告





■調査してくれた学校や団体

- ① 京町温泉EM研究会
- ② 伊佐市立曾木小学校・曾木校区コミュニティ協議会
- ③ RAC 指導者養成講座
- ④ えびの市立 飯野小学校
- ⑤ ひしかりガラッパ王国
- ⑥ さわやかサマースクール実行委員会
- ⑦ 水引キッズ応援隊+南九州市立高田小学校
- ⑧ 副田地区コミュニティ協議会
- ⑨ 清色地区コミュニティ協議会
- ⑩ 川内川をつくり見守る会
- ⑪ べんきょうしつモンシェリハウス
- ⑫ 高来地区コミュニティ協議会
- ⑬ 久富木区公民館
- ⑭ 薩摩川内市立 育英小学校
- ⑮ えびの市立 加久藤小学校
- ⑯ えびの市立 真幸小学校
- ⑰ えびの市立 岡元小学校
- ⑱ さつま町立 山崎小学校
- ⑲ えびの市立 上江小学校
- ⑳ 川内川流域連携連絡会

■活動発表会のプログラム

1. 主催者挨拶 川内川河川事務所 所長 久保 朝雄



2. 発表者の自己紹介

3. 今年の活動報告（川内川河川事務所調査課）

4. 水質改善についての取り組み紹介（さつま町環境課）

5. 共催団体 南九州コカ・コーラボトリング（株）
「グリーンパークえびの」による取り組み紹介

6. 川内川子ども環境ネットワーク 参加団体発表

①べんきょうしつモンシェリハウス

②高城川^{たきがわ}ネイチャークラブ



7. 川を活用した地域づくりについての活動紹介

①久富木区^{くぶき}公民館（さつま町）（水生生物調査実施）

②虎居区^{とらい}公民館（さつま町）

③川原町^{かわはらまち}公民会（さつま町）

④清色地区^{きよしき}コミュニティ協議会（薩摩川内市）（水生生物調査実施）

⑤高来地区^{たかき}コミュニティ協議会（薩摩川内市）（水生生物調査実施）

8. 意見交換

9. 講評 川内川流域連携ネットワーク 代表 中村 周二

司会者 NPO 法人川内川生きもののクラブ 理事長 上野 豊

主催：国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所

共催：NPO 法人川内川生きもののクラブ
南九州コカ・コーラボトリング株式会社

後援：鹿児島県 宮崎県 さつま町 鹿児島県教育委員会 宮崎県教育委員会
川内川水系水質汚濁対策連絡協議会

川内川流域連携ネットワーク：

KENTS倶楽部 NPOえびの ひしかりガラッパ王国

龍舟祭実行委員会 NPO法人ひっ翔べ！奥さつま探検隊 湯田がらっぱ会

べんきょうしつモンシェリハウス 薩摩川内河童共和国 NPO 法人きらり

川内川をつくり見守る会 鹿児島純心女子大学

NPO 法人川内川生きもののクラブ

1. 主催者挨拶

川内川河川事務所 所長 久保朝雄

本日はお寒い中、10年目を迎えました川内川子ども環境ネットワーク活動発表会にお集まりいただき誠にありがとうございます。

川内川は一度大雨が降ると大洪水となって私たちに苦しめる存在ですが、普段は、私たちの心を慰め、水産資源を育み与えてくれる恵みの川です。

この川内川が、もっともっといい川になるよう、皆様方と一緒にきれいにしていければと思います。

さて、川内川では、子どもたちが水生生物調査や水質調査などの体験学習をおこなうことにより、河川環境の大切さを学んでもらうという取り組みがおこなわれています。今年は約800人の流域の子どもたちの参加がありましたが、九州20水系で同様におこなわれているこの活動の中でもトップクラスであると自負しております。つきましては、ご参加ご協力いただいている皆様には心より御礼申し上げます。

また、一方では、各地の地域コミュニティ等の皆様も、身近な川を活用した地域づくりをおこなわれており、川内川に関心と親しみを寄せる人々の輪がどんどん広がっていると感じております。

そういうことで、当事務所では、川内川子ども環境ネットワーク活動で水生生物調査等に参加した子どもたちと川を活用した地域づくりをおこなわれている地域コミュニティ等の皆様の活動発表会を開催させていただくこととなりました。

開催にあたりましては、ご協力いただきました各団体様に御礼申し上げますとともに、この会が川内川や地域にとって、恵み多い内容となることを期待とお願いをいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



主催者挨拶 川内川河川事務所所長



会場風景

3. 今年の活動報告

川内川河川事務所調査課 東郷純一

【報告概要】

1. 川内川の水質について

昭和57年から川内川の水質観測が始まり、現在に至っている。観測地点は8ヶ所。水のきれいさの目安であるBOD（生物化学的酸素要求量）の値は、年々減少している。H21とH22年度は数値が跳ね上がっているが、これは例年より降雨が少なく川の水量が少なかったためである。BOD値での川内川の順位は、九州26河川中7位、全国165河川中37位。生活排水や畜産などの影響の目安である大腸菌群数については、基準値を満たしているのは1ヶ所のみで、その他7ヶ所は満たしていない。



2. 今年の水生生物調査の実施状況について

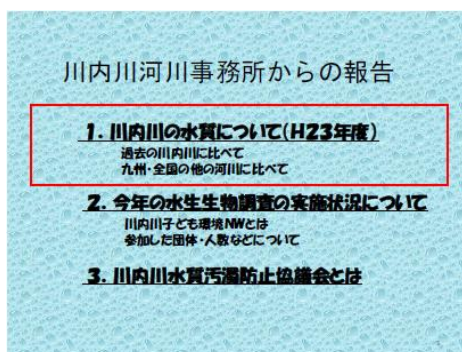
水生生物調査は全国でおこなわれているが、川内川では、日本一の清流にすることを目標に「川内川子ども環境ネットワーク」という名前で平成15年度から取り組んでおり、H22年度より水生生物調査等をおこなう「環境教室」と「防災教室」に分けて実施している。昨年の東日本大震災のように、近年大きな災害が発生しているため、今後は防災教室にも力を入れていく予定である。

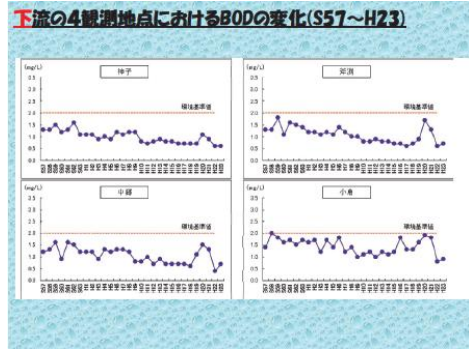
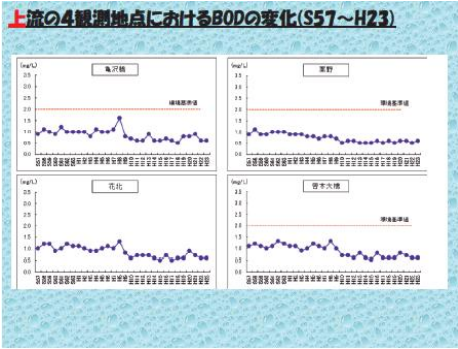
川内川での水生生物調査は、九州20河川の中で一番参加者数が多く、昨年は720名、今年は717名（実施団体20団体）。

子どもたちのアンケート結果をみると、「初めて川に入った（約70%）」「こんなにたくさん生きものがいてびっくりした。」「川をきれいにしたいので、米のとぎ汁は台所で流さず、花にやろうと思う」などの感想をもらっている。

3. 川内川水系水質汚濁対策連絡協議会について

流域の関係機関（2県5市町）が連携して水質事故や水質悪化等問題に対処し水質改善を目指すため協議会を設置。具体的には、水質事故対応や訓練、防止啓発活動等をおこなっている。水生生物調査では効果的な啓発が期待されるため、今後は関係者の方々にもご参加お願いできればと思っている。





平成23年 川内川水質観測結果

表-1 平成23年川内川水質観測結果

調査地点 名	水質イオン 濃度 mg/L		生物化学的 酸素需要量 BOD ₅ (20°C) mg/L		浮遊物濃度 SS mg/L		濁り物濃度 DO mg/L		大腸菌数 MPN/100mL	
	観測値	基準値	観測値	基準値	観測値	基準値	観測値	基準値	観測値	基準値
流域値	5.0以下	2以下	25以下	7.5以下	1,000以下					
A										
亀内橋 (上流市街)	7.9 (7.3)	0.6 (0.6)	3 (15)	9.3 (7.5)	1,327 (12,750)					
栗野 (栗水町)	7.4 (7.2)	0.6 (0.6)	4 (15)	9.6 (7.5)	1,600 (4,307)					
柳子 (上つま町)	7.5 (7.3)	0.6 (0.6)	3 (15)	8.7 (7.5)	1,430 (2,377)					
新渡 (龍津川内市)	7.7 (7.6)	0.7 (0.6)	6 (17)	10.3 (7.7)	2,227 (13,237)					
中津 (龍津川内市)	7.5 (7.5)	0.7 (0.6)	3 (15)	9.3 (7.5)	1,623 (1,125)					
小倉 (龍津川内市)	7.5 (7.1)	0.6 (0.6)	3 (15)	8.5 (7.5)	1,328 (1,140)					
尾山 (尾山町)	7.2 (7.1)	0.6 (0.6)	3 (15)	9.1 (7.5)	1,700 (1,140)					

※上流値は平成23年平均値
前L BODは79%値
()は平成22年平均値

平成23年 1級河川BOD平均値ランキング

順位	河川名		調査箇所		平成23年			平成22年
	九州	全国	観点	県名	平均値	BOD平均値の範囲	BOD75%	平均値
1123	1122	※以下河川不詳						
九州	全国	九州	全国					
7	37	4	24	川内川	0.7	0.6 ~ 0.7	0.7	0.6

平成22年度: 全国165河川の中で第24位
(九州の26河川の中では第6位)

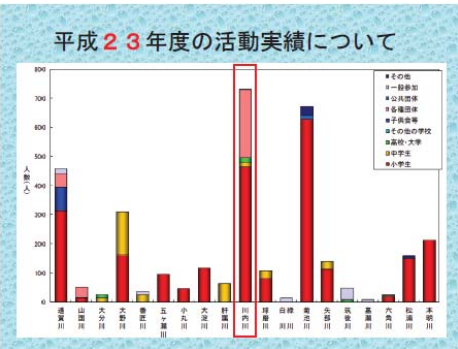
平成23年度: 全国164河川の中で第37位
(九州の26河川の中では第7位)

川内川河川事務所からの報告

- 川内川の水質について(H23年度)**
過去の川内川に比べて九州・全国の他の河川に比べて
- 今年の水生物調査の実施状況について**
川内川子ども環境NWとは参加した団体・人数などについて
- 川内川水質汚濁防止協議会とは**

川内川子ども環境ネットワークについて

- 目的
川内川を日本一の清流にすることを目的に平成15年度から開始!
- 活動内容
・川内川の生きもの調査や水質調査やゴミ調査を行う『環境教室』
・水害に関する知識などを学ぶ『防災教室』



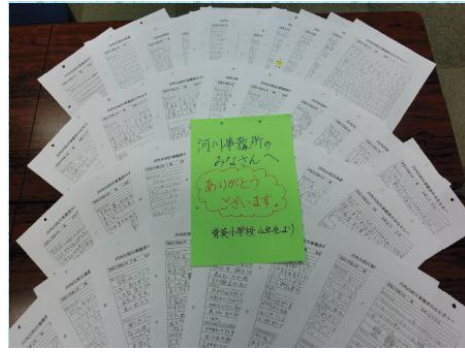
平成24年度の活動実績について

■水質調査も含めた参加者数(子ども環境NW活動参加者数)

- ・参加団体の参加者数764人(延べ24団体 実数20団体)
- ・市民団体の指導者を含む参加者数779人(河川事務所以外の参加者数)
- ・河川事務所職員を含む参加者数870人

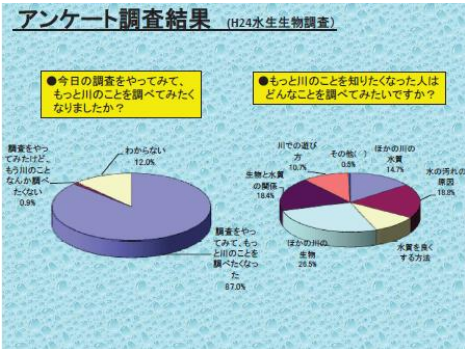
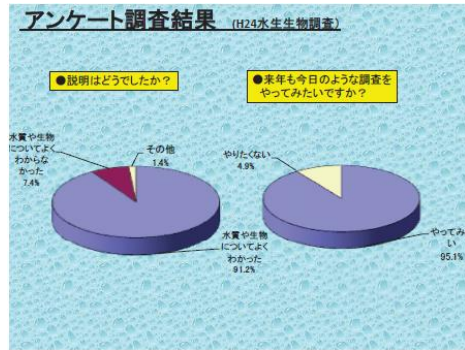
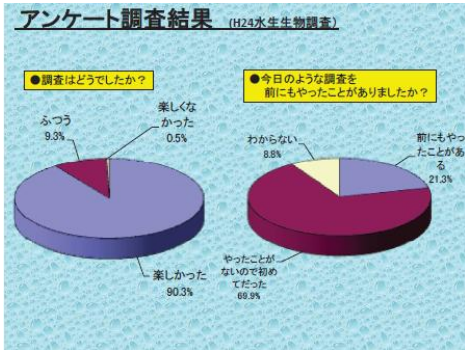
今年は約800人が参加!





川内川河川事務所のみなさんへ		川内川河川事務所のみなさんへ	
青森小学校4年 2組	名前	青森小学校4年 2組	名前
質問の目的	今日の川の水質がどうなっているか、川の水質をよくなるようにしたい。	質問の目的	今日は水質がよくなりました。水質をよくなるようにしたい。
回答	水質をよくなるようにしたい。水質をよくなるようにしたい。水質をよくなるようにしたい。	回答	水質をよくなるようにしたい。水質をよくなるようにしたい。水質をよくなるようにしたい。

川内川河川事務所のみなさんへ		川内川河川事務所のみなさんへ	
青森小学校4年 2組	名前	青森小学校4年 2組	名前
質問の目的	今日は水質がよくなりました。水質をよくなるようにしたい。	質問の目的	今日は水質がよくなりました。水質をよくなるようにしたい。
回答	水質をよくなるようにしたい。水質をよくなるようにしたい。水質をよくなるようにしたい。	回答	水質をよくなるようにしたい。水質をよくなるようにしたい。水質をよくなるようにしたい。



川内川河川事務所からの報告

- 1. 川内川の水質について(H23年度)**
過去の川内川に比べて九州・全国の他の河川に比べて
- 2. 今年の水生物調査の実施状況について**
川内川子ども環境NWとは参加した団体・人数などについて
- 3. 川内川水質汚濁防止協議会とは**

川内川水質汚濁防止協議会とは

水質事故や水質悪化等の問題に対処するため、流域の関係機関(2県5市町)が連携して水質改善を目指すために設置している団体。

具体的な取組事例

- 油等の有害物質が川に流入した場合の対応
- 水質改善のための啓発活動(ポスター、パンフレット等の配布)
- 河川清掃活動への参加、ゴミ袋の無償提供
- 水生物調査との連携



4. 水質改善についての取り組み紹介

さつま町環境課環境係長 三腰義行

【発表概要】

1. 水質検査について

さつま町では、川内川の支流 18 河川 20 地点で、夏と冬の年 2 回水質検査をおこなっており、検査結果は町の HP でも公開している。



検査は、ph（水素イオン濃度）、BOD（生物化学的酸素要求量）、COD（化学的酸素要求量）、SS（浮遊物質）、大腸菌群数の 5 項目。大腸菌群数以外は、概ね基準値を満たしている。大腸菌群数が基準値をオーバーする要因としては、畜産関係の糞尿や各家庭から流れ込む生活排水といわれている。

2. さつま町での水質改善について

河川の水質浄化には、汚濁の原因である生活排水浄化施設設置が効果があると言われている。

さつま町では、農業集落排水と各家庭への合併処理浄化槽設置推進により生活排水浄化に努めているが、その人口普及率は 55% である。約半数が合併処理浄化槽の 1/7 程度の浄化能力しかない単独浄化槽で垂れ流し状態。

また、農業集落排水は時吉と佐志のごく一部の地区が対象であり、公共下水整備は多額の費用がかかるため、各家庭への合併処理浄化槽設置推進に力を入れている。普及率向上が、水質改善の最大で最短の道であると思う。

3. 私たちにできること

情熱の教育者と言われた「東井義雄」さんの言葉に、以下のものがあります。

「川は岸に沿って流れているのではありません。川に沿って岸ができています。子どもの感じ方、思い方、考え方、生き方を無視し踏みにじり、大人が勝手に岸を作って流れを変えようとしても、子どもはそう簡単に流れを変えてくれるものではありません。」

子どもたちが川で自由に遊べて、その自然の中から学び、その価値を一級の財産として引き継いでもらうためにも、私たち大人が、まずやれることを自分たちからやろうとすることが重要ではないかと思う。

身近な例)

- ・宮之城河川敷公園を綺麗にする愛犬家の会→犬の散歩しながら河川敷清掃
- ・さつま遊友会→廃油石鹸製造販売による家庭での使用普及による河川浄化

みなさんはすでに実行されていますが、自分たち、行政それぞれが何ができるか考え、できることを実行することが大切で、自分たちのまちは自分たちで守るんだという思いが、地域を活性化させ、子どもたちの未来づくりにつながるのではないのでしょうか。

5. 南九州コカ・コーラボトリング（株） 「グリーンパークえびの」による取り組み紹介

南九州コカ・コーラボトリング（株）
グリーンパークえびのセンター長 竹田俊哉

【発表概要】

南九州コカ・コーラボトリング（株）は、「飲料ビジネスを通し、人と地域に貢献」できる企業をめざして事業に取り組んでいるが、みなさまのご支援とご支持をいただき、今年創立50周年を迎えた。



川内川上流のえびの市にある「グリーンパークえびの」は、工場見学者施設「コーク館」、約1万坪のフラワーガーデン、芝生広場等各施設を有し、平成18年3月の一般開放以降「豊かな自然環境と調和し、地域に開かれた公園工場」をめざし、さまざまな地域貢献活動に取り組んでいる。年間約20万人の来場者がある。

川内川を利活用した活動としては、えびの市や地元NPO等と実行委員会をつくり、体験を通して子どもたちが「考える力」を身につける機会を提供する「さわやかサマースクール」を夏休み期間に14教室開催しているが、その中で「川内川体験キャンプ」や「カヌー教室」等を実施している。



川内川体験キャンプにおいては、川内川河川事務所や川内川流域連携ネットワークのみなさんの協力をいただき、川内川最上流部のクルソン峡や当工場まへの川内川などで水生生物調査や川流れ、沢登り等をおこない、えびのの自然の豊かさや怖さ、水資源の大切さなどを体験を通し伝えている。



【主な取り組み】


■イベント

- 5月 さわやかフェスタ
- 7～8月 さわやかサマースクール 14教室
- 9月 さわやか涵養林・えびのの里 植林や下草刈り
- 10月 秋季えびの観光祭
- 12～1月 ハッピーイルミネーション LED10万球点灯

■フラワーガーデン コーヒーやお茶の製造カスを堆肥として再利用し栽培

- 3～4月 菜の花開花 12万5千本
- 7～8月 ひまわり開花 2万5千本
- 10月 コスモス開花 600万本

6. 川内川子ども環境ネットワーク 参加団体発表

①べんきょうしつモンシェリハウス			
発表者	13名	引率者	森脇里美
調査河川	夜星川（さつま町）	調査日	8月9日
タイトル	調査結果の報告		
<p>【発表の概要】</p> <p>べんきょうしつモンシェリハウスは、近くの夜星川を中心にH17年から調査を毎年実施しており、今年で8年目の常連団体である。毎回楽しい寸劇やダンスで調査状況や結果を報告しているが、今回はこれらに合わせ、今回気づいた調査方法の課題・問題点や改善提案、採取した生物の生態等の研究、H18年の水害前と水害後の採取生物の変化などについて発表した。</p>			
			
<p>1. 水質調査</p> <p>（課題1）3種類（ph、COD、アンモニウム態窒素）の簡易試薬を用いた調査をおこなったが、一度に全種類の配布がなされたので種類がわからなかった。</p> <p>（改善案）簡易試薬の種類毎に区切って調査をすればよいと思う。</p> <p>（課題2）3種類の簡易試薬での水質調査を同じバケツ（の水）でおこなったが、簡易試薬のチューブに水を入れる時、誤って薬剤の水溶液をバケツに出してしまった。その後の調査結果に影響が出たと思う。</p> <p>（改善案）簡易試薬の種類毎に使用するバケツの水を新しい水に換えると、より正確な調査結果を出せると思う。</p>			
<p>2. 水生生物調査</p> <p>5班に分けて調査した結果、水質階級はIのきれいな水であった。採取した指標生物は、ヒラタカゲロウ、ナガレトビケラ、ヤマトトビケラ、ヒゲナガカワトビケラ、コガタシマトビケラ、シロタニガワカゲロウ、テナガエビの7種類。その他、アリアケギバチやヨシノボリを捕獲した。</p> <p>発表にあたっては、身近な生物であるテナガエビやジャンボタニシ、カワフニナ、アリアケギバチ、メダカの生態について詳細に調べた。</p>			
<p>（課題1）昨年の調査では16種類の指標生物を採取できたが、やり方が悪かったのか今年は7種類に留まった。</p> <p>（改善案）もっと多くの種類の指標生物がいると思う。毎年調査しているので調査に詳しい子どもも数名いるが、新規参加者やあまり詳しくない子どももいるので捕獲方法や網の使い方などを指導してほしい。</p> <p>（研究）災害前は、夜星川には100個近いカワフニナが見つかったが、それ以後は10個以下で、今年は1つも見つからなかった。今後も継続して調べてみたいと思う。</p>			



②高城川ネイチャークラブ

発表者	10名	引率者	川路
調査河川	高城川（薩摩川内市）	調査日	8月18日
タイトル	2012活動報告		

【発表の概要】

高城川ネイチャークラブは、H15年からH19年までの高来校区公民館子供会での活動を含め、10年連続でこの川内川子ども環境ネットワーク活動に参加している。元小学校教諭の宮菌先生の指導の下、高城川下流域の高来地区の妹背橋や稚児ヶ淵を中心に、上流の城上町長野や上宇都川路などで水生生物調査をおこなったり、どんぐりの苗を育て上流の山に植樹したりして、川をきれいにする活動をおこなっている。



【水質調査・水生生物調査】

今年は、妹背橋で調査をおこなったが、カワゲラやヒラタカゲロウ、サワガニなど10種類の生きものが見つかり、10年間で初めて「水質階級Ⅰ」のきれいな水といううれしい判定結果となった。

ただ、上流の城上町の高城川の側に大規模の畜舎ができ、水質への影響が心配されるので、今後も調査を続けていきたい。

【川の清掃活動・ゴミ調査】

川の清掃活動でのゴミ調査の結果も、3年前と比較すると「454コ→75コ」に、昨年と比較しても「138コ→75コ」と拾ったゴミの数は減少していた。ただし、内容を見ると、タバコの吸い殻は大きく減少しているが、空き缶やペットボトルの数はあまり変わっていない。

タバコの吸い殻の減少は、毎年8月第3土曜、高来地区でおこなわれる高城川川祭りや、地区のみなさんに呼びかけているので、理解が進み、タバコのポイ捨てが少なくなったのではないかと思う。今後も引き続き、地区のみなさんに空き缶やペットボトルのポイ捨て禁止や家庭での処分をお願いしながら清掃活動を続けていきたい。



【主な活動】

- 川の清掃活動
- 水質調査・水生生物調査
- 木炭による水質浄化活動
- どんぐりを植え、育てて植林
- カワニナを育て、高城川を蛍の飛び交う川にする
- 高城川の川祭りで調査結果発表と環境問題啓発活動
- 川のレスキューなど安全講習参加

<h2 style="text-align: center;">高城川ネイチャークラブ 2012</h2> <p style="text-align: center;">「美しいふるさとの川を未来に残すために」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  <div style="text-align: center;"> <p>12月8日 発表会資料</p> </div>  </div>	<h3 style="text-align: center;">高城川ネイチャークラブとは</h3> <ul style="list-style-type: none"> ふるさとの美しい川を未来に残すため、小学校1年生から大学生のメンバーとその保護者、指導される宮園先生ご夫妻で地道に活動をしてきました。 <p>主な活動は</p> <ul style="list-style-type: none"> 川の清掃活動 水質調査・水生生物調査 木炭による水質浄化活動 ドングリを植え、育てて植林 カワニナを育て、高城川を蜚の飛び交う川にする 高城川の川祭で調査結果発表と環境問題啓発活動 川のレスキューなど安全講習参加 												
<h3 style="text-align: center;">高城川(たきがわ)の位置</h3>  <p style="text-align: center;">川内河川 高城川 長さ: 18.4km 源流: 高城川内物城上町字柳川 と阿久根市との境付近</p>	<h3 style="text-align: center;">高城川の「淵」</h3>  <p style="text-align: center;">稚児ヶ淵(ちごがふち)</p> <p>引木淵(ひっきぶつ) 入江淵(いへんぶつ) 祇園淵(ぎおんぶつ) 法衣殿淵(ほいでんぶつ) 化粧取淵(けしよといぶつ) 岩立淵(いわたてぶつ)</p> <p>高城川には8つの淵があり、それぞれにもおもしろい名前がついています。カッパ伝説も残る稚児ヶ淵(写真)もその一つです。</p>												
<p>高城川ネイチャークラブの主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 川の清掃活動 水質調査・水生生物調査 木炭による水質浄化活動 ドングリを植え、育てて植林 カワニナを育て、高城川を蜚の飛び交う川にする 高城川の川祭で調査結果発表と環境問題啓発活動 川のレスキューなど安全講習参加 	<h3 style="text-align: center;">川の清掃活動について</h3> <p>川の清掃活動は、ネイチャークラブ単独で年2回から3回子ども会となでしこクラブと一緒に年1回実施しています。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="color: red;">【3年前の調査結果】</th> <th style="color: red;">【今年の調査結果】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タバコの吸い殻: 276</td> <td>タバコの吸い殻: 10</td> </tr> <tr> <td>紙くず: 106</td> <td>紙くず: 15</td> </tr> <tr> <td>空き缶: 43</td> <td>空き缶: 30</td> </tr> <tr> <td>ペットボトル: 29</td> <td>ペットボトル: 20</td> </tr> <tr> <td>合計 454</td> <td>合計 75</td> </tr> </tbody> </table>	【3年前の調査結果】	【今年の調査結果】	タバコの吸い殻: 276	タバコの吸い殻: 10	紙くず: 106	紙くず: 15	空き缶: 43	空き缶: 30	ペットボトル: 29	ペットボトル: 20	合計 454	合計 75
【3年前の調査結果】	【今年の調査結果】												
タバコの吸い殻: 276	タバコの吸い殻: 10												
紙くず: 106	紙くず: 15												
空き缶: 43	空き缶: 30												
ペットボトル: 29	ペットボトル: 20												
合計 454	合計 75												
<ul style="list-style-type: none"> 3年前に比べると、ずいぶんゴミの量が減っています。川祭などで、よびかけたからでしょうか。 タバコの吸い殻はととも減りましたが、空き缶やペットボトルなどはあまり減っていません。 これからも清掃活動を呼びかけていきます。 <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">みなさんも川をきれいにすることに関心をもってください。</p>	<h3 style="text-align: center;">水質調査</h3> <p>水質調査は、単独でも行いますが、ほとんどは川内河川事務所のかたといっしょに行っています。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="color: red;">【3年前の調査結果】</th> <th style="color: red;">【今年の調査結果】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>透明度 100cm</td> <td>透明度 100cm</td> </tr> <tr> <td>PH 7.5</td> <td>PH 7</td> </tr> <tr> <td>NH4-N(アンモニア態窒素) 0.2mg/l</td> <td>N4-N(アンモニア態窒素) 0.2mg/l</td> </tr> <tr> <td>COD(化学的酸素要求量) 4mg/l</td> <td>COD(化学的酸素要求量) 6mg/l</td> </tr> </tbody> </table> <p>水質調査は、透明度・バクテリア(DP-Bio-NH4-N-COD)などでわかります。</p> 	【3年前の調査結果】	【今年の調査結果】	透明度 100cm	透明度 100cm	PH 7.5	PH 7	NH4-N(アンモニア態窒素) 0.2mg/l	N4-N(アンモニア態窒素) 0.2mg/l	COD(化学的酸素要求量) 4mg/l	COD(化学的酸素要求量) 6mg/l		
【3年前の調査結果】	【今年の調査結果】												
透明度 100cm	透明度 100cm												
PH 7.5	PH 7												
NH4-N(アンモニア態窒素) 0.2mg/l	N4-N(アンモニア態窒素) 0.2mg/l												
COD(化学的酸素要求量) 4mg/l	COD(化学的酸素要求量) 6mg/l												
<h3 style="text-align: center;">水質調査の結果</h3> <p>水質調査の結果、水質階級はI(きれいな水)でした。今まで、10年間、同じ場所で調査を続けていますが、水質階級がIになったのは、初めての事だと宮園先生が教えてくださいました。</p>	<h3 style="text-align: center;">今年8月、京セラ近くの高城川で水生生物調査</h3> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>カワゲラ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>カワガニ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>カワムシ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>カワムシ</p> </div> </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">これらの生き物を見つけました。</p>												

<p>城上町長野の高城川上流での水生生物調査</p> 	<p>城上町長野の高城川上流での水生生物調査</p>  <p>城上町長野の高城川では、きれいな水質(水質階級1)の生物がたくさんいて、ほっとしました。</p>
<p>稚児ヶ淵での水生生物調査</p>  <p>私たちの高城町にある稚児ヶ淵や妹背橋付近でも調査</p>	<p>稚児ヶ淵・妹背橋付近での水生生物調査</p>  <p>これらの生物がすんでいました。</p>
<p>稚児ヶ淵・妹背橋付近での水生生物調査</p>  <ul style="list-style-type: none"> • 去年は、シロタニガワカゲロウが異常発生しましたが、今年はあまり見かけなくなっています。 	<p>高城川祭で発表</p>  <ul style="list-style-type: none"> • 8月18日に法衣殿瀬ちかくで行われた高城川祭の際、ネイチャークラブでステージがあり、水質階級が1になったことを発表しました。また、川のゴミ問題や生活排水の問題など、川の環境問題について、集まった人々に呼びかけました。
<p>川で安全に活動するための講習も</p> 	<p>最後に</p> <p>もっと、たくさんの友達と川を身近に感じることができるためには、自然のこわさ、水のこわさをよく知り、自分の行動に責任を持つことが大切だと思います。</p> <p>美しいふるさとの川を未来に残すために・・・。</p>

7. 川を活用した地域づくりについての活動紹介

①久富木区公民館			
発表者	館長 満留民雄		
調査河川	久富木川（さつま町）	調査日	8月22日
タイトル	久富木区公民館の取り組みについて		
<p>【発表の概要】 久富木区は、さつま町の南端にある5集落の人口約700人（約300世帯）の地区で、水稻、たけのこ栽培、畜産が盛んなところである。本地区は、久富木川が代表的な景観となっており、この川内川子ども環境ネットワーク活動を活用し、今年も含めH15年から7回水生生物調査をおこない、地区の環境保全に取り組んでいる。</p> <p>【清掃活動】 久富木川に注ぐ水路への空き缶のポイ捨てが多い。特に、薩摩川内市祁答院町に続く干本桜並木がある県道へのポイ捨てが多かったため、小さな赤い鳥居とポイ捨て禁止の看板を設置したところ減少した。また、水生生物調査の直前には、子どもたちの活動の安全と河川景観保全のため、地区住民で久富木川の堤防の草刈をおこなっている。</p> <p>【その他川を活用した取り組み】 H15年から、久富木川の環境変化の観察と新春歌詞交換、安全パトロール隊員と子どもたちの顔合わせを兼ね、毎年1月、源流から区公民館までの13.7km（川内川延長の1/10の距離）を歩く、久富木川源流ウォーキングをおこなっている。 また、H14年から毎年8月に独自で検査機関に依頼し、久富木川水系6河川の大腸菌群数の水質検査をおこない、地区の河川環境を見守っている。</p> <p>【子どもの時期の川遊びの重要性】 最後に、本地区の子どもたちが川に入る機会は、この水生生物調査がなければ年1回もない。私は子どもの頃の楽しかった川遊びが忘れられず、現在地区の川環境保全活動に取り組んでいる。同様に、水生生物調査や魚釣りなどの川遊びをした子どもたちは一生故郷の川を大切に思う。であるので、今後も川の体験学習をおこなうつもりである。また、流域連携で魚釣り大会などをやり、子どもを川に引き寄せるイベントをやってはいかかかと思う。</p>			
 <p>【発表者】久富木区公民館長 満留 民雄</p>		 <p>久富木区一番の景観 (砂浦橋から上流を望む)</p>	



久富木川源流ウォーキング

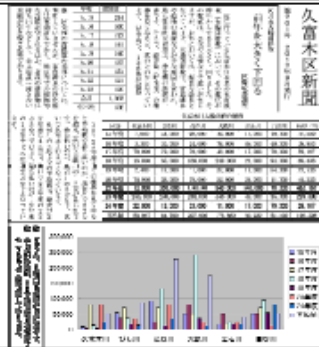


久富木川の源流までのウォーキング企画。
今年で10回目。
その模様はテレビで放送もされました。

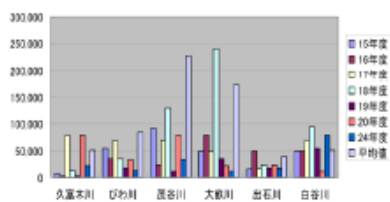
久富木川源流ウォーキング



源流記事 プリントは源流記事とグラフ記事





平成24年度 久富木川水系の水質検査結果 (河川水大腸菌群数)



区内の子供たちを集めて、久富木川で の水質調査・水生生物調査を体験



②虎居区公民館			
発表者	館長 吉井達也		
活動河川	川内川（さつま町）	調査日	—
タイトル	虎居区公民館の取り組み		
<p>【発表の概要】</p> <p>虎居区は、H18年の川内川流域豪雨により大きな災害に見舞われたが、九州地方整備局や川内川河川事務所など関係機関のご尽力により、河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）で自然石を使った親水性の高い護岸や橋の架け替えなどの整備をおこなっていただき心から感謝している。</p> <p>激特事業での地区整備が一段落したことから、虎居区では以下のような目標を掲げ、取り組みをおこなっている。</p> <p>【目標】</p> <p>川内川を単なる環境基準をクリアした川ではなく、昔のように清流を取りもどし、安心して遊べる親水性の高い川にする</p> <p>【先進地研修の実施】</p> <p>虎居区役員20数名で、都城市で取り組まれている大淀川水系の小河川の水質浄化活動（都城河川水質改善プロジェクト）を視察。ひも状接触材を川に設置して、河川水中の有機物や無機物が接触材に沈殿付着させる方法などが行われていた。</p> <p>【独自の取り組み】 廃油石鹸づくりと普及による川内川水質浄化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭の天ぷら油回収 H19～H24.9まで累計で1,509リットル回収 2. 回収した天ぷら油で廃油せっけんづくり 食生活改善員の方々の協力を得て、回収した天ぷら油から廃油せっけんをつくり、敬老祝賀会や運動会の際に配布。 3. 講演会の開催 講演会を開催した結果、以下のものを魚の棲める水にするためには多量の水が必要であることがわかった。 天ぷら油 1リットル→20万倍の水 米のとぎ汁 1リットル→600倍の水 合成洗剤→1ヵ月で約20%しか分解されない <p>虎居区で取り組んでいる天ぷら油の回収と廃油せっけんの利用は、川内川の河川浄化に不可欠と痛感しているため、今後も継続していきたい。</p>			
			

川内川激特事業により整備が進みました。

整備前 整備後

虎居地区の築堤

景観にも配慮したすばらしい水辺空間に

歴史・文化に配慮した石橋渡神 検込分水塔

ゆったりとした遊歩道や芝生広場も整備され、イベントなど多目的利用が可能となりました。

虎居区の新たな目標

川内川を単なる環境基準をクリアした川ではなく、昔のように清流を取りもどし、安心して遊べる親水性の高い川にすることを目標に定めました。

水質浄化に取り組んでいる自治体へ研修を実施
(都城河川水質改善プロジェクトを見学し虎居区役員20数名で伺いました)

都城市で取り組まれている大流川水系の小河川の水質浄化を見学

ひも状接触材を川に設置して、河川水中の有機物や無機物が接触材に沈殿付着させる方法などが行われていました。

都城市で取り組まれている大流川水系の小河川の水質浄化を見学

虎居区 独自の取り組み①

家庭からでる天ぷら廃油の回収を続けています。平成19年度から取り組んでおり、24年9月までの累計では1,509リットルを回収。

てない心が語る！

地域や職場での活動や声

さつま町広報誌に掲載された廃油回収の取り組み

虎居区 独自の取り組み②

回収した天ぷら油で廃油せっけんづくり

- 食生活改善員の方々の協力を得て、回収した天ぷら油から廃油せっけんをつくり、敬老祝賀会や運動会の際に配布。

虎居区 独自の取り組み③

講演会開催

- (財)県環境技術協会理事長 坂本幸雄先生
- 演題「鹿児島の水資源きれいな川内川を守るために」

天ぷら油 1リットルを魚がすめる水にするためには…

20万倍もの水量が必要！

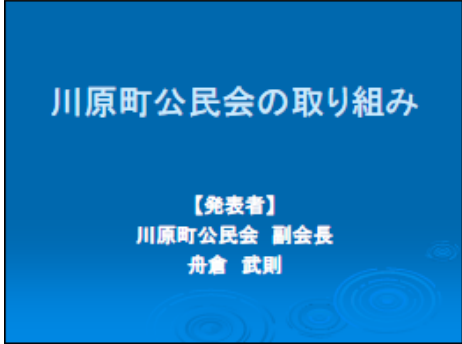

米のとぎ汁1リットルでも魚がすめる水にするためには…

600倍もの水量が必要！

せっけんを使って川に流すと、1日で分解されるが…

合成洗剤を使って川に流すと、1ヶ月でも20%しか分解されず、水の自然浄化作用を妨害！

- 虎居区で取り組んでいる天ぷら油の回収とせっけんの利用は、川内川の河川浄化に不可欠と痛感しています。
- これからも環境改善に取り組んでいます。

③川原町公民会			
発表者	副会長 舟倉武則		
活動河川	川内川（さつま町）	調査日	—
タイトル	川原町公民会の取り組み		
<p>【発表の概要】</p> <p>川原町公民会は、さつま町宮都大橋左岸にある宮之城屋地区 14 公民会の中の 1 つである。本公民会も、国土交通省さん等のご尽力により、激特事業で対岸の景観や河川改修等で町並みが一変したこと御礼申し上げる。</p> <p>発表にあたっては、確実な報告をしたいと思い、公民会で発行している「ふるさと川原の歴史」を入念に調べた。</p> <p>1594 年、島津義弘が薩摩藩に納める米の倉（菱刈倉）を川原町に置いたため、伊佐方面の上納米を運んできた農民や舟人夫が集まり、茶屋や宿屋でにぎわった。</p> <p>川内川と深いつながりのある本公民会では、以下のような年中行事やイベントを行っている。</p> <p>【主な年中行事】</p> <p>元旦：拝賀式・泳ぎ初め（来年で 60 回目） 1 月：鬼火たき 4 月：水神様祭（天皇誕生日に実施） 7 月：魚のつかみ取り大会 夏休み 6 月 燈 うなぎ等の放流体験 11 月：川原相撲（1644 年 轟の瀬開削完成を記念した水神様への奉納相撲） 12 月：水神様周辺等草刈整備</p> <p>【今後の予定】</p> <p>H25 年度に竹いかだ下り大会を復活予定。 10 数年前まで、宮都大橋上流から下流の山崎までの 7km を 40 数組が下る竹いかだ下り大会を実施していたが、死亡事故が発生し中止となっていた。 実施にあたっては、関係者の皆さまのご協力をお願いしたい。</p>			
			

川原町の紹介

- ▶ 江戸時代、薩摩藩に納める米の倉(菱刈倉)が置かれたため、川原町には伊佐方面の上納米を運んできた農民や舟人夫が集まり、茶屋や宿屋でにぎわっていました。
- ▶ 川原町の歴史は、川内川と深いつながりがあります。公民会でも、川内川とともに歴史を刻んできた年中行事やイベントを行っています。

川原町公民会の川内川に関する行事

- ▶ 元旦: 揮賀式・泳ぎ初め
- ▶ 1月: 鬼火たき
- ▶ 4月: 水神様祭
- ▶ 7月: 魚のつかみ取り大会
 - 夏休み 6月 燈
 - うなぎ等の放流体験
- ▶ 11月: 川原相撲
- ▶ 12月: 水神様周辺等草刈整備

泳ぎ初め



- ▶ 元旦の揮賀式で泳ぎ初めを実施(来年で60回目)
- ▶ 70~100人が泳ぎます。

泳ぎ初め



泳ぎ初め



1月 鬼火たき



1月 鬼火たき



4月下旬 水神様祭



4月下旬 水神様祭



- ▶ 奉寄進の下に子供の名前を書いて奉納。
- ▶ ひとぎを作って安全祈願。

7月 魚のつかみ取り大会

魚のつかみ取りイベント
 クリーン作戦(川内川河川敷清掃)
 古式泳法演舞
 カヌー体験
 川流れ体験
 とびこみ体験 などを実施

主催: 川原町公民会・下川原を守る会
 NPOひっつるべ! 奥さつま探検隊
 協賛: さつま町商工会/観光協会
 後援: 川内川河川事務所

7月 魚のつかみ取り大会

2009 夏 第6回 川原さかか つかみ取り大会
～川原のこども！ 遠征～

主催：川原さかか実行委員会
 協賛：川原さかか実行委員会
 協賛：川原さかか実行委員会
 協賛：川原さかか実行委員会

日程：7月19日（日）
 10:00～12:00 川原さかか
 12:00～14:00 川原さかか
 14:00～16:00 川原さかか
 16:00～18:00 川原さかか

場所：川原さかか
川原さかか（水神様周辺）

参加費：無料（遠征費別途）

主催：川原さかか実行委員会
 協賛：川原さかか実行委員会
 協賛：川原さかか実行委員会
 協賛：川原さかか実行委員会

7月 魚のつかみ取り大会
 川内川河川敷での魚のつかみ取りイベント

7月 魚のつかみ取り大会
 魚のつかみ取りイベント

7月 魚のつかみ取り大会
 魚のつかみ取りイベント

7月 魚のつかみ取り大会
 カヌー体験も実施

7月 魚のつかみ取り大会
 大人たちに見守られて、とびこみも体験

水神様からのとびこみ体験！

ゆうさをもらえよ！

はこよっか、ひつべ！

は好き、つまんで！

7月 魚のつかみ取り大会
 大人たちに見守られて、とびこみも体験



7月 小学生の放流体験

11月 川原相撲

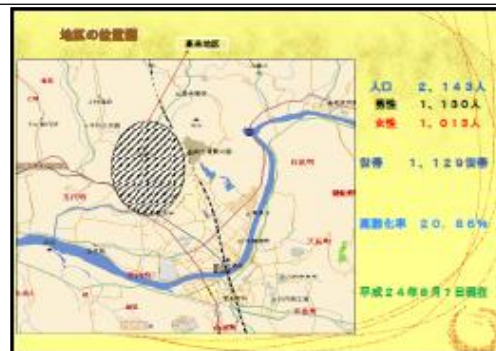
> 水神様への奉納相撲として始まったとされる川原相撲

> 川原相撲の名物
 > 「女相撲甚句」

12月 水神様周辺等草刈整備

④清色地区コミュニティ協議会			
発表者	会長 坂口睦徳		
活動河川	樋脇川（薩摩川内市入来町）	調査日	8/5、11/10
タイトル	清色地区コミュニティ協議会の取り組み		
<p>【発表の概要】</p> <p>清色地区は、中央を樋脇川が流れる薩摩川内市入来町にあり、麓の武家屋敷群等国の伝統的建造物群保存地区を有する人口 1,658 人（814 世帯）の地区である。上流の大馬越地区や朝陽地区は畜産の盛んな地区で、本地区の河川水質への影響が懸念される。</p> <p>H25 年 5/22～24 には入来麓伝建地区の国選定 10 周年と旧増田家住宅竣工を記念した「第 35 回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会」が開催予定で、河川も入れたプログラムの検討等準備をおこなっているところである。</p> <p>【地区の取り組み】</p> <p>清色地区コミュニティ協議会では、昔のようにホタルの舞う地域にしたいという目標を掲げ、地域づくり環境部会に 22 自治会から各 2 名の委員を配置する水質改善委員会を設置し、EM 活動をおこなっている清流会とともに EM を使った川の水質浄化活動を進めている。</p> <p>(1) EM を使った水質浄化の取り組み</p> <p>EM 発酵液と米のとぎ汁の混合発酵液を地区家庭へ普及させ、地区 22 自治会の約 800 世帯での使用を目指し、河川水質浄化を目指している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米のとぎ汁の家庭排水防止 ・EM 発酵液と米のとぎ汁発酵液の食器洗い、生ゴミ処理、風呂掃除、水洗トイレ水タンクへの注入での家庭排水浄化 <p>(2) 地区の子どもたちへの川の体験学習の推進</p> <p>川に入る機会のない地区の小中学生に対し、川の生きもの調査や魚釣りなどの自然体験を通じた河川環境学習やふるさと学習などを目的に、水生生物調査を 2 回実施。調査結果は 2 回とも水質階級Ⅱのややきれいな水であった。</p>			
			

⑤高来地区コミュニティ協議会			
発表者	会長 小田原眞一		
活動河川	高城川（薩摩川内市高来町）	調査日	8月16日
タイトル	水にふれあい 人にやさしい 自然に回帰できるまち たかき		
<p>【発表の概要】 高来地区は、人口 2,143 人（1,129 世帯）の高城川の下流域にある町。高城川水系周辺には田園地帯が広がっており、点在する農村集落の中央を幹線道（県道吉川～川内線）が通り、その周辺には京セラ(株)をはじめとする I C 関連工場が立地しているため、着実に住宅等の増加が見られる地区である。一方、高城川のガラッパ伝説が伝えられる稚児ヶ淵周辺では市街地に近接しているにもかかわらず、昔ながらの優れた河川景観を残している。また、江戸時代の参勤交代路であった薩摩街道（出水筋）も、往時をしのぶ歴史的な資源として残っている。</p> <p>【高城川を利用した活動】</p> <p>1. 高城川祭り</p> ふるさとを流れる清流「高城川」とふれあい、そして肌で感じることで、ふるさとの川の素晴らしさ及びふるさとの良さを伝え、小魚が泳ぎ、虫が飛び交うこの「高城川」をこれからの将来を担う子供たちのために残すべく、また今後永久に守っていくことを目的に実施している。平成9年からの事業であり、今年度で15回を迎える地区内外に浸透した事業であり、毎回参加者 1,500 人を超える一大イベントである。 <ul style="list-style-type: none"> ①清掃活動（地区民総出による） ②手作りの舞台設置 ③青少年部会・ネイチャークラブによる水生生物調査 ④魚のつかみどり <p>2. 野外炊飯事業</p> 子ども世代・お父さんお母さん世代・おじいちゃんおばあちゃん世代が集い、高城川の畔の河原で、薪や、木ギレを使い火熾しから行う。野外炊飯の経験の少ないお母さん世代に子供やおじいちゃんおばあちゃんからの指導があり、地区の一体感を図ることができ、昼食後有識者による「稚児ヶ淵」の伝説や、歴史を学びながら、ふるさとを愛する気持ちを養うことを目的に実施している。 <ul style="list-style-type: none"> ①3世代による野外炊飯準備 ②川辺のほとりで釜戸づくり・炊飯 ③有識者による川の伝説・由来の伝承 <p>3. 現状及び今後の課題</p> 小中学校では川で遊ばないように指導し、保護者も川で遊ばせなくてもよいのではないかというのが大半の意見であったが、地区住民が川に近づかなくなり無関心になれば、上流の城上地区に大規模な豚舎ができたこともあり、水質等河川環境悪化が懸念されるため、今後も川の活動を継続していきたい。			



地区の概要

● (1)地区の歩み・概要

高城の由来は、源義(に)隆(ぎの)景(みこと)の地所「高城千倉を築く」より取るとも言い、或いはこの地に高城(高)があったことによるとも言う。和名抄に「多加木」と記してあり、初めは「たがき」と呼ばれていた。ちなみにこの地は大宇治と呼ばれ、「藤」のようなのは、源氏時代の故村伝説の言われた所で、府下・府元とも書かれた。この地には高城郡の地頭家屋も置かれていた。

高城地区周辺を含む地域は、高城郡から明治22年に高城村に、昭和35年には町制施行で高城町となった。その後、地勢的・歴史的に同一視し、経済・文化の交流による相互関係が深かったことなど、地方自治の本質に基づく効率的な行政運営と地域住民の福祉向上を図ることから、昭和40年に川内市との合併に至った。

地区の現状・課題

(1) 現状

高城川水系周辺には田圃地帯が広がっており、点在するように形成された農村集落の中央を幹線道(国道宮川～川内線)が通り、その周辺には京セラ跡をはじめとするIC関連工場が立地しているため、着実に住宅等の増加が見られる地区である。

一方、高城川のガラツパ(伝説が伝えられる境川ヶ原周辺)では市街地に近接しているにもかかわらず、昔ながらの優れた河川景観を維持している。また、江戸時代の参勤交代路であった福原街道(田水新)も、往時をしのぶ歴史的な景観として残っている。

(2) 課題

高城川・長尾川など豊かな水の流れ、のどかな田圃風景、緑豊かな山々などの豊かな自然環境を保全しながら、農村集落における都市圏連携促進や市街地への交通アクセスの強化、南部の工場集落地における周辺環境との調和、高齢者や子供をはじめとする人にやさしいまちづくりを進める必要がある。特に高城小学校を中心とした通学路の整備は学童の交通安全のための急務である。

高城川を利用した活動

- 高城川祭り
 - ★ 清掃活動(地区民衆による)
 - ★ 手作りの舞台設置
 - ★ 青少年部会・ネイチャークラブによる水生生物調査
 - ★ 魚のつかみどり
- 野外炊飯事業
 - ★ 3世代による野外炊飯準備
 - ★ 川辺のほとりでの釜上げづくり・炊飯
 - ★ 有識者による川の伝説・由来

高城川祭り事業 - 1

★ 事業目的・事業内容

ふるさとを流れる清流「高城川」とふれあい、そして肌で感じることで、ふるさとの川の素晴らしさ及びふるさとの良さを伝え、小魚が泳ぎ、鯉が飛び交うこの「高城川」をこれからの将来を担う子供たちのために残すべく、また今後永久に守っていくことを目的とする。

平成9年からの事業であり、今年度で15回を迎える地区内外に浸透した事業である。

毎回1500人の参加を超える一大イベントである。



高城川祭り事業 - 3

★ つかみどり



老若男女みんな楽しんでます。

野外炊飯事業 - 1

★ 事業目的・事業内容

子供世代・お父さんお母さん世代・おじいちゃんおばあちゃん世代が集い、高城川の畔の河原で、薪や、木ギレを使い火熾しから行う。
野外炊飯の経験の少ないお母さん世代に子供やおじいちゃんおばあちゃんからの指導があり、地区の一体感を図ることができ、昼食後有識者による「稚児ヶ淵」の伝説や、歴史を学びながら、ふるさとを愛する気持ちを養うことを目的とする。

野外炊飯事業 - 2

★ 下ごしらえ



野外炊飯事業 - 3

★ 釜づくり・炊飯



野外炊飯事業 - 4

★ 釜づくり・炊飯



野外炊飯事業 - 5

★ 有識者によるお話



現状及び今後の課題

現状

○この野外炊飯事業は、老若男女様々な年代が参加しており、世代を超えた交流的な事業展開ができている。

○各世代においてリーダー的な役割が確立されており、各世代で協力体制ができている。

課題

○事業の事業方法を工夫し、気軽にたくさんの地区民の参加を促進する。

○地区一体となる行事等への参加しやすい環境の形成に努める。

「若者と女性の声が生きる町」の推進



8. 意見交換

Q 1. (NPO 法人ひっ翔べ！奥さつま探検隊理事長 小牧氏)

高城川川祭りの舞台を使ってどのような催しをされているのか？また、舞台は川の上に組んでいるのか？

A 1. (高来地区コミュニティ協議会会長 小田原氏)

舞台では、歌や踊りのど自慢大会などをおこなっている。また、祭りの始めに、高城川ネイチャークラブのみなさんに、実施した水質調査や水生生物調査、ゴミ調査等の結果を発表してもらっている。舞台は高城川の上に足場を組んで作っている。

祭りでは、舞台での催しのほかに「花火大会」や「さかなのつかみ取り」を実施しているが、この企画がヒットして、町内だけでなく市内近隣から約 1,500 人の来場があり、屋台も出されたいへん賑わっている。魚のつかみ取りの生けすは、川にブルトーザーを入れて作っている。

Q 2. (司会者 上野)

久富木地区では、独自で久富木川水系 6 河川の大腸菌群数の水質調査を H15 年から実施されているようだが、その実施経緯と年間の実施回数および大まかな費用をお聞かせ願いたい。

A 2. (久富木区公民館長 満留氏)

H15 年からではなく、H12 年から実施している。基準値 1,000/100ml を満たしている河川はなかなかないが、穴川のように町の検査結果で基準値を満たしている河川もあるので、地区の山崎小学校児童との水生生物調査を計画するにあたり、学校の先生への説明資料や調査目的の材料として大腸菌群数の水質調査をやろうということから始まった。

また、毎年、調査結果を地区広報誌「久富木新聞」に掲載したり、調査場所を畜舎の少し下流で実施することで、地区住民や特に畜産関係者の方々に、久富木川水系河川の水質に関心を持っていただくためにもおこなっている。

新聞を読まれた地区の方々から「今年の〇〇川（の数値）は下がったね」などと声をかけてもらうので、効果が出ていると思う。

実施回数は年に 1 回、8 月に実施している。費用は 1 ヶ所あたり 8,000 円程度で 6 河川全体で 5 万円くらい。部の予算や町の区公民館向け補助金「地域活性化型事業」を活用し実施している。

Q 3. (来場者)

水質調査採水時の時間や時期、川の状態等の条件は？

A 3. (久富木区公民館長 満留氏)

当地区では、年 1 回 8 月、採水場所を決め、天気のよい（川の水がきれいな）日の 10:00~11:00 に採水し、10 年継続調査している。定点・定期・定時観測し、10 年単位くらいの長期スパンで経年変化を見ることが

重要である。

(川内川河川事務所調査課 東郷氏)

雨が降った次の日など水が濁っている時は採水しないようにしているが、7月等梅雨期などは降雨の関係で採水に適した日がなく、実施せざるをえない月もある。

ただ、当事務所の各年度の水質データは年間平均値であるので、コンディションがよくない日に採水したデータがそのまま数値となることはない。

Q4. (司会者 上野)

虎居区役員で都城の水質改善活動を視察した結果、その後地区で取り組もうということになったことなどあれば紹介いただきたい。

A4. (虎居区公民館館長 吉井氏)

視察後、訪問調整をしてもらった町へ状況報告をおこなうとともに、区内で臭いのきつい都市下水に、都城で使われていたひも状接触材を設置してもらえないか要望書を提出した。

Q5. (虎居区公民館館長 吉井氏)

入来町清色地区のEMを使った河川浄化活動状況を再度お聞きしたい。10数年前、虎居区でも同様の取組みを始め、先進地視察で熊本県の宮原町にも行った。私は続けているし効果もあると思っているが、区では定着していない。

清色地区でのEM発酵液と米のとぎ汁の混合発酵液を使用すれば、米のとぎ汁の各家庭からの排出が減少し河川水質浄化に効果があると思うが、清色地区ではどのように普及されているのかお聞きしたい。

A5. (清色地区コミュニティ協議会会長 坂口氏)

当地区では、EM発酵液と米のとぎ汁の混合発酵液を活用した河川水質浄化の取組みのほか、廃油石鹸づくりやEMだんごでの水質浄化活動もおこなっている。3,000~5,000コのEMだんごをつくり、5つの橋から川に投入したり、小学校横にある元清色城の掘などに投入しているが、掘の水質改善には効果が出ている。

EM発酵液と米のとぎ汁の混合発酵液による浄化活動については、各自治会を通し普及させたいと思っており、水質改善委員会で22自治会から各2名配置されている委員に混合発酵液づくり講習会をおこない、自治会会合があるときに彼らや清流会メンバーが地元の方々に作り方を教えるという方法で普及を図っている。まだまだ定着していないので、各自治会長とも話し合いを重ねることで理解を得、浸透を図っていきたい。

9. 講評

川内川流域連携ネットワーク 代表 中村 周二

まず、今日一番びっくりしたことは、子どもたちの発表がすごく進化していたことです。そして、それをいろんな地区のみなさんに聞いてもらえたことが一番よかったのではないかと思います。



子どもたちがおこなった活動を、子どもたちの中だけで発表することもいいことですが、大人のみなさんに聞いてもらったり、大人がやっている活動を聞くことも大切なことだと思います。

地域コミュニティのみなさんの発表は、さまざまな取り組みがあり、とても勉強になりました。紙一杯書き留めてしまいました。

これだけ水のことを勉強されており、それぞれが様々な取り組みをしておられるのであれば、地区同士でコラボすればそれぞれの取り組みが活かされるのではないかと思います。

22年前、地域の仲間と参加費3万円で子どもたちを募集し、1週間の自然体験をおこなう「ひしかりガラッパの学校」を始めました。子ども30~40人と1週間過ごすのはたいへんで、疲れて先に子どもが潰れるか、大人が潰れるかという状況でした。

3年経った頃、私たちが子どもたちに一生懸命お世話をしていると思っていましたが、実はこれを通し、逆に私たちが子どもたちから「学ばされている、教えられている」ことに気づきました。

みなさんのお話しをお聞きし感じたことは、みなさんが子どもたちを入れて一緒に活動されていることが大事なことではないかと思いました。(子どもたちから学ぶ、成長させてもらう機会を作っているからです。)

私の伊佐地域より進んだ取り組みをされていていらっしゃいますし、どんどんやっていたらいいと思います。また、ありがたいことだなと思っています。

私は仕事柄選挙活動をやらせていただいています。地域を回っていると色々な方が様々なことを言って来られます。ある方が「大人の真剣さを子どもに見せる」ことが大切と言われました。ドキッとしました。忘れられない言葉でした。どうしたことなのか尋ねたところ、今の子どもたちは大人が一生懸命取り組んでいる姿を見たことがないので、小学校で消防の規律訓練などを見せて回ったらどうかということでした。

発表をお聞きして、みなさんはすでに「大人の真剣さを子どもに見せている」なと思いました。そしてそのことはたいへん重要なことで、その姿は必ず子どもたちの思い出(記憶)に残っていると思います。

みなさまのご尽力に敬意を表するとともに、今後のご活躍を期待いたします。

■記念写真



べんきょうしつモンシェリハウス



高城川ネイチャークラブ



久富木区公民館



虎居区公民館



川原町公民会



清色地区コミュニティ協議会



高来地区コミュニティ協議会

■ 展示パネル



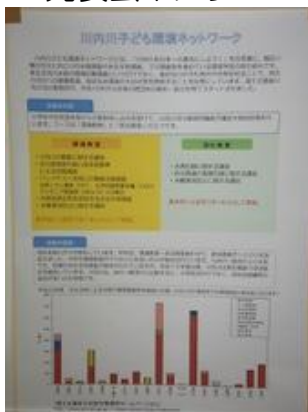
発表会ポスター



調査マップ



川内川について



子ども環境 NW とは



活動の流れ



川を活用した地域づくり



モンシェリハウス



高城川ネイチャークラブ



久富木区公民館



虎居区公民館



川原町公民会



川原町公民会



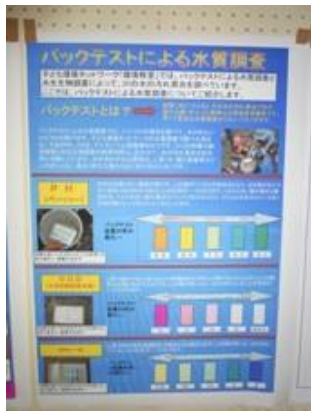
清色地区コミュニティ協議会



高来地区コミュニティ協議会



水生生物調査



バックテストによる水質調査



川内川子ども環境NW



NPO 法人川内川生きもののクラブ

〒895-0012

鹿児島県薩摩川内市平佐町2416番地

TEL : 0996-25-3155/FAX : 099623-5333

支援事業（社）九州建設弘済会